



2013.12.23 教会学校による聖劇

愛の業

助任司祭 ニコ神父

皆さん、新年おめでとうございます。

新しい年がやって来ました。今年はよりよい年、より恵みにあふれる年になってほしいと願っています。さて年の初めにあたり、信仰者である私たちは、もう一度自分の歩んできた信仰生活を振り返りましょう。特に私たちの生活の中でどれほど愛の業を実現しているかということを確認する必要があります。ではないかと思えます。聖ヨハネの言葉を借りて言えば、「愛は言葉や口先だけではなく、行いと真実のうちに示されなければなりません（Iヨハネ3・17-18）」ということなのです。

この聖ヨハネの言葉を黙想しながら、改めて私たちの社会の現状に目を向けてみましょう。私たちの周りに、生きる力や希望すらも失っている兄弟姉妹の誰かがいるでしょう。若い人の中で人生の目標や希望を見出せない誰かがいるでしょう。私たちの前に悲しみや苦しみを抱いている兄弟姉妹、闘病生活を送っている兄弟姉妹の誰かがいるでしょう。不安な日々、孤独を抱いて生きている兄弟姉妹の誰かがいるでしょう。私たち一人ひとりは彼らのために手を差し伸べて、少しでも力になったかどうか。勿論そのことを実現するために自分の努力だけではできないと思えます。私たちは神様の力と恵みを必要とするのです。神様がその力と恵みを私たち一人ひとりに与えられますように祈りたいと思います。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(at the Maria Kan Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

教会学校から病院訪問

リーダー伊藤恭輔

12月9日、教会学校の子供たちは、聖霊会のシスター方のご理解とご協力によって、聖霊病院に入院されている患者さんのところへお見舞いのために訪問させて頂きました。毎年恒例になりました手作りのクリスマスカードをもって病院訪問です。見ず知らずの患者さんを訪問することはとても勇気のいることです。子供たちはシスターからの注意事項を良く聞いて、聖堂で患者さんのためにお祈りしてから、病室へ向かいました。患者さんのお一人おひとりととても喜んで下さり、クリスマスカードを手にとったとたん、涙ぐんで、一生大切にします、とおっしゃりました。



下さった方もあって、後で子供たちから聞いて、その切んな大頂けるならもつと

丁寧にカードを作るように指導すべきだったとこちらが恥ずかしくなるくらいでした。いずれにしても子供たちにとっては、貴重なクリスマス前の体験ができたと思います。この場をお借りして、シスターさん、看護師さんに篤くお礼申し上げます。ありがとうございます。



12月23日 教会学校クリスマス劇



ボーイスカウトの新春餅つき大会

日時 平成25年1月13日(日)

午前10時～お昼まで

場所 南山教会 中庭

館ころ餅 キナ粉餅 雑煮など

- 食べ放題
- どなたでも参加できます
- 餅つきの実演も参加して下さい

主催 ボーイスカウト名古屋97団



餅つき大会

教会維持費

12月は1691.538円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしく願います。

カトリック南山教会 2013年度予算案

宗教活動一般会計収支計算書(2013.4.1～2014.3.31)

〔収入の部〕

科目	2011年度	2012年予算	2013年予算
維持献金	18,279,876	22,000,000	21,000,000
ミサ献金	6,757,396	6,300,000	6,500,000
祭儀献金	4,530,000	5,500,000	5,000,000
墓地料収入	300,000	0	0
その他献金収入	3,278,612	3,500,000	3,500,000
献金小計	33,145,884	37,300,000	36,000,000
特別献金収入	1,059,961	2,000,000	1,000,000
受取利息	13,507	20,000	20,000
雑収入	53,329	80,000	50,000
収入合計	34,272,681	39,400,000	37,070,000

〔支出の部〕

科目	2011年度	2012年予算	2013年予算
典礼書購入	312,880	450,000	350,000
聖具補充	155,486	50,000	150,000
花・ろうそく・ホスチア	410,953	500,000	500,000
儀典費小計	879,319	1,000,000	1,000,000
復活祭	44,064	180,000	0
堅信式	56,413	60,000	60,000
敬老の日	145,122	140,000	150,000
クリスマス	46,945	40,000	50,000
成人式	20,000	20,000	20,000
諸行事	52,264	100,000	100,000
集会費小計	364,808	540,000	380,000
宣教司牧費	883,634	750,000	800,000
墓地費	10,000	20,000	20,000
黙想会費	30,000	30,000	30,000
教区分担金	2,447,380	2,500,000	2,500,000
宣司評分担金	244,738	250,000	250,000
神学院助成金	500,000	500,000	500,000
その他寄付金	1,275,093	1,200,000	1,200,000
寄付金小計	1,775,093	1,700,000	1,700,000
運営委員会	0	20,000	20,000
典礼委員会	23,627	80,000	80,000
広報委員会	90,778	450,000	450,000
典礼奉仕者の会	130,774	140,000	140,000
大樹の会		30,000	30,000
ヨセフ会	18,450	130,000	70,000
マリア会	55,183	150,000	100,000
青年会	20,247	50,000	50,000
中・高生会	237,053	400,000	400,000
中高生保護者会	32,041	50,000	50,000
教会学校	474,612	600,000	600,000
教会学校保護者会	0	50,000	0
子ども部屋	39,057	50,000	50,000
レジオマリエ	0	0	0
ボーイスカウト	230,000	230,000	230,000
信徒協	6,200	30,000	30,000
南山手話の会	41,920	50,000	50,000
要約筆記者の会	20,919	20,000	20,000
英語ミサ	24,878	30,000	30,000
諸活動費小計	1,445,739	2,560,000	2,400,000
司祭活動補助費	3,360,000	3,360,000	3,360,000
特別献金支出	1,059,961	2,000,000	1,000,000

〔支出の部 続き〕

科目	2011年度	2012年予算	2013年予算
建物修理	460,186	3,500,000	2,000,000
オルガン修理	0	300,000	300,000
保守管理費	2,042,345	2,000,000	2,100,000
環境整備費	0	0	0
その他	0	0	0
修繕費小計	2,502,531	5,800,000	4,400,000
車両維持費	835,698	500,000	800,000
印刷費	976,462	1,000,000	1,000,000
事務用消耗品費	249,511	150,000	250,000
旅費交通費	285,680	0	300,000
通信費	1,683,039	1,500,000	1,600,000
消耗品費	720,594	500,000	700,000
水道光熱費	4,139,703	4,200,000	4,200,000
支払保険料	186,550	80,000	180,000
雑費	25,017	50,000	50,000
給料	5,460,000	7,400,000	5,500,000
雑給料	553,024	510,000	550,000
退職金	0	0	0
法定福利費	713,781	1,000,000	800,000
人件費小計	6,726,805	8,910,000	6,850,000
支出合計	30,832,262	37,400,000	33,770,000
消費収支差額	3,440,419	2,000,000	3,300,000

2018年頃までに、大聖堂・信者会館の塗装、防水工事等、大規模修繕が必要であるため、約3000万円の資金が必要でです。

この費用について、特別に積立金ができない場合、上記工事時には、やむを得ず皆様に別途ご負担を頂くことになるかも知れません。

心苦しいお願いですが、維持費・ミサ献金の増額のご検討や、その他アイデアをお寄せ下さい。

尚、現在維持費納入をされていらっしゃる方々は、野村司教様が示された維持費の目安(収入×3%)を御参りに、ご自身の収入に応じ維持費を納入頂きますよう、よろしくお願い致します。

維持費の納入については、司祭、事務所、財務委員にお尋ね下さい。

本予算は維持費約15%増額を前提としております。

皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

平成25年1月6日

財務委員長 伊藤恭輔

使徒信条の解説 (4)



4. 「ポンテイオ・ピラトのもと
で苦しみを受け、十字架につ
けられて死に、葬られ
(た)。」

私たちが罪のあがないをもた
らした神の子であるイエス・キリ
ストの受難と十字架上の死は、昔
と同じようにある人をつまづかせ
るもの、他の人にとつて愚かなも
の(1コリ1・23・25)です。全
能の神が十字架の死刑のような残
酷で、醜い方法によって、人類を
救ってくださったことは、独り子
の受肉と同じように人間の想像力
と理解力を超えていますので、こ
の神秘に関して、多くの間違つた
解釈が存在しています。このうち
一つの間違った考え方は、イエ
ス・キリストは罪を犯した人間の
代わりに、神から罰を受けたこと
によって、神の正義感を満たし、
人間の罪に対する神の怒りをなだ
めたというような考え方です。こ
のような過ちを避けるために、キ
リストの十字架の意義を理解しよ
うとしている時には、次のような

教会の二つの教えを前提にしなけ
ればならないと思います。

第一は、「これまでに行われ
た最大の道徳的な悪は、神の御子
を排斥し殺害したことです。これ
はあらゆる人間の罪が原因です
が、神は満ち溢れる恵みによつ
て、そこから最大の善であるキリ
ストの栄光とわたしたちのあがな
いを引き出されました。とはい
え、悪が善になるわけではありま
せん。」(カトリック教会のカテ
キズム³¹²) という教えです。イ
エスの受難と十字架上の死は、人
間が行つた「最大の道徳的な悪」
ですので、神にはこの悪を人間に
とつて最大の善である私たちのあ
がないに変える力があつたとして
も、善そのものである神は、その
ような悪を求めることや凶ること
が決してないのです。けれども、
全知である神は、御独り子が人間
によつてどのように扱われるかと
いうことを必ずご存知であつた
し、神の意志に逆らう人間の仕業
であつたこの最大の悪事を人間の
救いのために役に立たせる力を
持つておられたゆえに、それを許

し、ご自分の救いの計画をこれに
合わせたということが言えるで
しょう。

キリストの十字架を解説する
時に前提とすべき第二の教えは、
罪と罰に関する教えです。「大罪
はわたしたちの神との交わりを断
ち、その結果、永遠のいのちを受
けることを不可能にします。この
状態は、罪の結果として生じる
「永遠の苦しみ(罰)」と呼ばれ
ます。他方、小罪も含めたすべて
の罪は、被造物へのよこしまな愛
着を起こさせます。・・・この二
種類の苦しみ(罰)は、外部から
神によつて行われる一種の復讐で
はなく、罪の本性そのものから生
じるものと考えるべきです。・・・」(カトリック教会カ
テキズム1472) つまり、罪を
犯す人は、神との繋がりを緩く
し、場合によつて、それを切りま
す。同時に、罪の対象となつてい
るものとの依存関係を結びます。
言い換えれば、罪は人間を神から
遠ざけると同時に、神以外の何か
と繋げるのです。神との絆が弱く
なりながら、他のものとの絆が固
くなればなるほど、人間が自由を
失い、命の源である神のもとに戻
れなくて、神のゆるしを受けるこ
とができないという絶望的な状態

に陥るのです。このような状態
は、神による罰ではなく、罪の結
果、つまり人間の選択とその選択
に基づく人間の行動の結果なので
す。従つて、私たちが救い主を必
要としていたのは、神が私たちに
対して怒つていて、罰を与えるの
を諦めようとしなかつたからでは
ありません。私たちは、私たちが
愛しておられるゆえに、私たちが
いつでもご自分との交わりに受け
入れたいと望んでおられた神から
離れすぎ、罪のとりこになつてい
るので、自分の力だけではもどる
ことができなかったからこそ、救
い主を必要としていたのです。
最大の悪であるキリストの十
字架上の死は、この現実をはつき
りと現しています。イエス・キリ
ストにおいて神ご自身が私たちの
ところに近いとくくださったにも
関わらず、人々は、自分たちの命
と幸福の源である主を喜んで迎え
入れる代わりに、そのような酷い
目に合わせて、殺してしまつたと
いうことです。人間は、現在で
も、自分の命や愛という賜物、ま
た他の多くの恵みを悪用しようと
することによつて、それを無駄に
してしまふ時に、同じように罪の
暗闇に生きている無力なものであ
ることを表しているのです。言い

換えれば、罪を犯すことによつて、二千年前の人々と同じように、私たちもイエス・キリストを排斥し、十字架に付けるのです。その意味で、キリストの死は、二千年前の人々の責任だけではなく、罪を犯している私たちの責任でもあると言えるわけです。

神は、イエス・キリストにおいて人間となつて、私たちと同じ人間性を受け、この人間性によつて私たち一人ひとりと結ばれました。さらに、イエス・キリストを人々の手に引き渡すことによつて、神はご自身を私たちの手に引き渡してくださいました。それこそ、私たちへの愛を表す神ご自身の奉獻、神ご自身のいけにえと同じに、神との愛の交わりへの招きの最も強い表現なのです。確かに、人類を代表していた人々は、イエス・キリストを排斥し殺害することに、この招待を拒否しました。幸いに、この人たちは人類の唯一の代表者ではありませんでした。私たちの仲間であるイエス・キリストも私たちを代表していたのです。イエスは、生涯、受難と十字架の上のような究極的な状況においても、神の望みに従つて愛に生きたことによつて、神の招待を受けて、神の愛に完全

な愛を持つて応えたのです。十字架の上のイエスの姿は、醜くてもこの完全な愛の表現になつています。イエス・キリストは、神に無限の愛を奉獻したからこそ、その時まで存在していた人々が犯した罪と、その時から世の終わりで存在するすべての人々が犯す罪が破壊する神との関わりを回復し、私たちが神と和解させたのです。全人類が犯すすべての罪をはるかに超えている無限の愛による神との関わりの回復こそ、罪のありがたいのであり、絶対に破ることのない、新しい永遠の契約なのです。

イエス・キリストはご自分の愛のいけにえによつて、私たちが神と和解させてくださいました。同時に聖パウロが語る通りに、「神はキリストによつて世を御自分と和解させ、人々の責任を問わない(2コリ5・18)のです。つまり、罪のあがないのわざは、人間であるイエス・キリストのわざでありながら、神ご自身のわざでもあります。けれども、だからと言って、人間が神の命にあずかるためにもう何もしなくてもいいということはありません。神はキリストによつて世を御自分と和解させ」たことを

語った後に聖パウロは次のような言葉を付け加えます。「また、和解のために奉仕する任務をわたしたちにお授けになりました。つまり、和解の言葉をわたしたちにゆだねられたのです。ですから、神がわたしたちを通して勧めておられるので、わたしたちはキリストの使者の務めを果たしています。キリストに代わつてお願いしましょう。神と和解させていただきなさい。(2コリ5・19・20)つまり、人間は、神の命にあずかり、人生の目的であり、人間の最高の幸福である神との愛の交わりに実際に生きるようになるために、聖パウロのように、イエス・キリストを受け入れることによつて、もつと実現されている神との和解の恵みを受け入れることと、イエス・キリストと共に、イエス・キリストのように愛に生きることによって神以外のものへの「よこしまな愛着」を無くすことが必要なのです。神は、現在いるいろいろな仕方を以て、特にキリストの教会の諸働きを通して、すべての人々に向かつてこの和解の恵みを受け入れるようにと呼びかけています。それは、イエス・キリストの復活と昇天によつて可能になった

堅信一泊黙想会

梅村祥子

今年も例年のように、堅信を受ける中高生の一泊黙想会を十二月二十二日(土)と二十三日(日)にしました。今年堅信を受ける中高生のうち六人が参加しました。初日はビデオ「四人目の賢者」を鑑賞し、アントニー神父様のお話、聖体礼拝をし、翌日は他の中高生と一緒に十四人で八事聖霊修道院を訪問してクリスマスマスの祈り、ハンドベルなどをし、シスターたちとクリスマスカードを交換し、交流しました。以下はみん



なの感想です。

・宗教の映画を見ておもしろく感じたのは初めてで、感動しました。主人公ほど人に情けをかけることは難しいですが、主人公に見習いたいです。

・ビデオの主人公は人々のために尽くしてとても感激しました。わたしは正直そこまでできないけれど、できることはしたいと心の中で思いました。このビデオを見て人に対する気持ちが変わりました。困っている人がいたら手を差し伸べてあげたいです。

・神父様のお話から隣人愛で一番近いのは自分自身で、自分を受け入れられ、大切にしなければならぬと思えました。

・まず自分自身を愛し受け入れられ、それができたら家族、友達、周りの人のことを受け入れることができる。これはとても大事なことです。それから神様が自分自身を作ってくれたことに感謝すること。

・ハンドベルは一人ではできないもので、皆で協力しあって一つのことを完成させるということを学びました。協力してすることとは、一人ですることより喜びが絶対に大きいだろうと思えました。協力してすることによって、皆との仲が少し深まったか

など思いました。

・聖体礼拝はいつものミサとは違って、個人の祈り（沈黙）の時間が結構あっていろいろなことを心の中で言うことができ良かったです。

・聖体礼拝をして、心の中にとっても良い気持ちを感じました。

・クリスマスカード作りはとても楽しかったです。いろんな工夫をみんななしていて、きれいなカードが作れたと思います。

・黙想会を通して、他の子と仲良くなれてとても良かったです。

・わたしはこの黙想会でいろいろなことを体験でき、とても良い時間を過ごさせて感謝しているし、うれしいです。

第9回運営委員会

2013年1月6日

司祭団より

「ようこそ南山教会へ」の五千部の印刷。

報告事項

信仰年取り組みの掲示板掲示当

番表の配布

当番表が配布された。

1月はヨセフ会。

2月はマリア会。

3月は典礼委員会。

以降11月分まで示された。

前の月の第3日曜日までに主任司祭に提出し、事前の承認を得る。

クリスマスミサ・パーティー、

年末年始の典礼

クリスマスミサ参加者数は、
24日16時四百人 20時四百五十人 24時二百人弱。

25日10時二百人、19時八十人ほどの参加があった。

元旦ミサは三百人の参加。

クリスマススイブのキャンドルサーブスについては、今回の反省を次年度に生かしていく。ヨセフ会ミサ当番がサポートに入ることも可能。

16時のミサの参加者が年々増

えている。当番を決めて20時と同じくらいの対応をしていく必要がある。

パーティーは持ち寄りパーティー。20人の方からご寄付があった。それに加えてマリア会で54本のケーキを焼いた。教会からの支出は1万7千円程度。テーブルクロスの代わりの模造紙を使ったことが支出減につながった。違和感がなければ今後もこの形でいくのが良さそうである。

パーティーパーティーだったので、マリア会当番班の方も20時のミサに参加できた。

司教様を囲む新年の集い

1月20日(日)14時〜布池教会にて行われる。

14時〜ミサ

16時〜地下ホールにてパーティー。

ミサの中で新成人の祝福も行われる。

今年を担当教会ではないので、特別なお手伝いは必要ないが、都合がつく方はご参加を。

来年度各会予算案提出状況確認

先月末が各会予算案の締め切りだった。

申請をもとに、ヨセフ会、マ

リア会が予算削減。

将来の大規模修繕に向けて積み立てを行うことが必要だが、現状ではかなり厳しい。

建物修理については、マリア館の防水工事をすぐに行う必要がある。およそ百万円かかる見通し。

大聖堂控室出口の段差をスロープにするには約五十万円。

第3日曜日ミサ後の各会紹介 順番の確認が紙面で行われた。

1月20日に要約筆記者の会、2月17日に中高生保護者会。

審議事項 南山教会小聖堂付属納骨室利用

希望者の募集開始 募集要領案が書面で示され、承認された。

使用者として想定しているのは原則としてカトリック南山教会信徒および関係物故者(家族)

永代祈祷料は4人までの収蔵の場合は、40年で48万円。

8人までの収蔵の場合は、40年で78万円。

共同収蔵の場合は、40年で18万円。

予約時に半額をお支払いいただく。

使用申込書についても案が示され、承認された。

12日(土)の建設委員会で最終的に確定し、13日(日)以降皆様にお知らせする。

26日からの受付開始を目指す。

八事の共同納骨堂からの改葬については、役所への提出書類など他の方とは違う手続きが必要になるため、別の説明会の開催も検討中。

小聖堂付属納骨室建設現状報告 名古屋市に提出する申請書類がまとまった。近日中に設計者とともに名古屋市と最終的な詰めを行う。

納骨壇が木製であるため、細かな対応が必要だった。

納骨室の内部では火気を使用しないということを誓約書の形で表した。

これまでに何度も名古屋市と調整を行ってきているので、まもなく認可が下りる見込み。

お一人だけ同意できない方がいらっしやったが、他の近隣の方々からは同意が得られた。

建物の名称は「ヨセフ館」が候補としてあがっているが、今後さらに検討する。

管理、運営のための管理委員会を整備していく必要がある。

司教様年頭書簡に基づく南山教会としての取り組み 1月12日(土)のお知らせから取り組みの具体案募集のお知らせをする。

2月運営委員会(2月3日)に決定し、2月9日(土)のお知らせから周知。

次年度委員の確認 複数年留任の団体もあるが、2013年度に交代される団体の確認があった。4月に交代があるのは、マリア会、信徒協の男女各1名、教会学校、レジオマリエ、中高生保護者会。

各会報告 聖ラザロ村友の会

昨年、クリスマス献金として四十万円余を韓国聖ラザロ村へ送金した。

ボイスカウト 1月13日(日)午前10時より「新春餅つき大会」を開催。一般参加も歓迎。

1月25日(金)夜、27日(日)「スキー訓練」岐阜県朴の木平スキー場

典礼委員会 12月2日 宣教地司祭育成の日

にあたり、神言神学院共同体とともに9時半ミサを捧げた。

12月9日 9時半ミサ後、参列者の協力を得てクリスマスリース設置。

12月16日 9時半ミサ後、参列者の協力を得て告解台準備。

12月22日 23日 共同回心式

12月24日 16時20時24時 御降誕夜半のミサ

12月25日 10時19時 御降誕日中のミサ

12月31日 新年を迎える感謝ミサ

1月1日 神の母聖マリアのミサ 新成人の祝福が行われた。

マリア会 12月24日 クリスマスパーパーの準備を行った。20名の方が持ち寄り品を提供してくださった。マリア会としてはケーキを54本焼いた。多数の方が参加してくださり、会話が盛り上がっていた。

教会学校 12月9日 聖霊病院訪問

12月16日 聖劇(マリア館)

12月23日 聖劇(大聖堂)

次回は2月3日

1月20日 ミサ後の各会紹介は要約筆記者の会

南山句会

平成二十四年二月五日



冬蕃薇神父の慈愛身にしてみて

夕食に一品加ふ鱈大根

暫らくは山茶花明り狭庭かな

掛軸も紅葉の絵図や六疊間

クッキー焼く待降節の一日かな

錦秋の室生の里や五重の塔

山海の珍珠にボジョレヌーボかな

悲しみに出会ひ窓辺のシクラメン

木の葉舞ふ魚のごとくに光りあり

聖堂へつづく坂道石路の花

紀子

瑞子

牧子

とく子

義子

真喜子

洋子

美智子

佑子

せつ子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

※一二月号の訂正
誤…減反に築紫野
正…減反に築紫野
秋桜

信者の消息

受洗

おめでとうございます

おんだ
マリア・テレジア 恩田ミツエ

結婚

♡ お幸せに♡

12月2日
なみかわのりひこ よしながまゆ
浪川哲彦 ♡ テレジア吉永茉莉

転出

いつまでもお元気で

使徒ヨハネ栗木博英 (小牧教会)
フランスコ・アッシジ 栗木塔世 (小牧教会)
マテオ水野三千夫雄 (藤ヶ丘教会)
マグダレナ青山登美子 (平針教会)

12月23日

たかななおや ふかやひさこ
マキシリアン・マリア・コルバ 田中直也 ♡ 深谷久子

帰天

ご冥福をお祈り致します

11月1日 Sr.プリタス柴原ふさ (82歳)
12月10日 マリア・ソフィア山田千代子 (86歳)
12月19日 パウロ加藤迎春 (81歳)
12月22日 ヨセフ野々垣松寿 (81歳)
12月23日 チェリンゲンンのエリザベト岩崎かち子 (73歳)

転入

ようこそ

ベルナデッタ田尾静子 (伊勢教会)
マリア吉浦あゆみ (禰崎教会)

2013年1月・2月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
1月	1(火)神の母聖マリア・世界平和祈願日 6(日)主の公現 14(月)主の洗礼	1(火)10:00新年平和ミサ・成人式 (日)管区に予算書提出 20(日)子供のミサ	6(日)運営委員会 6(日)教会学校・中高生会始業式 13(日)新春餅つき大会(ボーイ) 18(金)マリア会新年会 19(土)10:30子ども部屋 20(日)典礼委員会 26(土)要約筆記付きミサ 27(日)ヨセフ会新年会	1(日)世界平和の日 17(木)司祭協議会 18(金)~25日 キリスト教一致祈 禱週間 20(日)信徒協「司教を囲 む新年の集い」
2月	13(水)灰の水曜日(大齋小齋) 17(日)四旬節第一主日	10(日)9:30堅信式・日英合同ミサ	1(金)マリア会例会(懇談会) 3(日)運営委員会 10(日)典礼委員会 (日)ヨセフ会班長会 16(土)10:30子ども部屋	21(木)司祭協議会 (水)四旬節愛の献 金(四旬節中)